



《表紙の風景》
UR都市機構本社のある横浜アイランドタワー、手前は歴史的建造物として保存された横浜銀行旧本店（1929年造）。なお直下の馬車道駅には、金庫室の扉や営業室の壁面彫刻が移され、歴史を未来につなげている。

外部から専門家を招いて「都市デザインチーム」を設立

2004年、政府は「美しい国づくり政策大綱」をまとめ、さらに「景観緑三法」がこの6月に施行され、国をあげて本格的な美しい国づくり、美しい都市づくりが推進されようとしています。

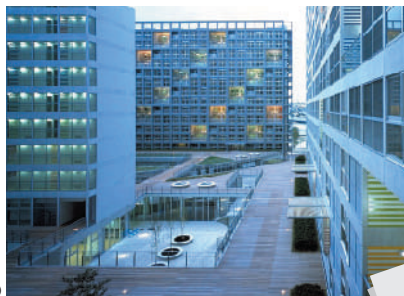
UR都市機構は「人が輝く都市をめざして、美しく安全で快適なまちをプロデュース」をミッションとして取り組んでいます。都市デザイン業務の一層の充実を図るため、本年4月都市デザインチームを設立しました。

これまで内部に蓄積してきた経験やノウハウに加え、機構外の経験や発想・感覚を活用し、良好な都市景観を形成することをめざし、そのリーダーとして外部から人材を招聘しました。

チームはリーダー木下庸子氏ほか4名で、モデルプロジェクトの実施、景観形成コーディネート業務の受託、調査研究・提言、都市デザインのスキルアップなどの業務を推進します。

木下庸子氏は建築家として設計組織ADHを主宰するほか、日大などの大学講師も務めています。スタンフォード大学卒業、ハーバード大学デザイン学部大学院を修了、米国内で生活した国際派です。

UR都市機構が推進した大規模都市再生プロジェクト「東雲キャナルコートCODAN」に参画し、都市居住者の新しいライフスタイルに対する識見、感覚、手法が高く評価されました。都市機能の使命とする、住む人が生き生きと輝く美しいまちへ、木下氏をリーダーとする都市デザインチームは大きな期待を集めています。



東雲キャナルコートCODAN(東京都)

編集後記

日本住宅公団の発足は昭和30年(1955)街頭テレビが人気を集め、路面電車も全盛、翌年には東海道本線全線電化という時代です。戦後の未曾有の住宅難解決へ大きな期待がかけられての出発でした。大規模集合住宅と新しい生活様式の提案、そして多彩なニュータウン建設という役割を果たして半世紀、時代と社会の変貌を受けて都市再生のプロデュースという、新しいUR都市機構への期待もまた高いものがあります。

三田佳子さんと伴理事長の対談、眞鍋かをりさんとUR都市機構若手職員との座談会、いずれも限られた時間と限られた誌面でのご紹介ですが、記念特集として新鮮で充実した内容になりました。ご感想、ご意見をぜひお寄せください。

季刊「ユアールプレス」4号
Vol.4(2005年7月)
発行 独立行政法人都市再生機構
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
横浜アイランドタワー Tel.045-650-0881
編集・制作(株)日本経済社
(株)リアソシエーツ
印刷 (株)アイネット

平成16年度独立行政法人都市再生機構の 役職員の報酬・給与等について

当機構の役員の報酬及び職員の給与の水準に関する情報について、国民の皆様に分かりやすくお知らせするため、平成15年9月に総務省においてとりまとめた「独立行政法人の役員の報酬等及び職員の給与の水準の公表方法等について(ガイドライン)」に基づき、当機構のホームページに掲載しております。詳しくは機構ホームページをご覧ください。

機構ホームページアドレス

<http://www.ur-net.go.jp/jkoukai/pdf/ur2005jinjia0001.pdf>

半世紀を経て都市再生にこめたメッセージ 「住塚 SUMIZUKA」

世界的彫刻家

流政之の

住塚 SUMIZUKA

コンフォール東鳩ヶ谷のパブリックアート

当時の先進的住宅団地を建替え

1958年に建設された東鳩ヶ谷団地は、当時としては理想的な住宅と住環境でしたが約半世紀経ったいま、建物の老朽化がすすみ、生活水準の向上や居住者のニーズの変化もあつて建替えることとなりました。住宅の規模や設備、機能の向上とともに、けやきや桜の木の保存や移植により緑の環境が保全再生されました。

UR都市機構の
パブリックアートの先駆

UR都市機構の前身 日本住宅公団は、団地の庭空間に地域の個性を表現したパブリックアートの重要性を早くから提唱しました。いち早く実践を試みたのがこの東鳩ヶ谷団地で、全国的にひろがった当時の文化行政、彫刻のあるまちづくりの先駆的な例ともなりました。

再び 流政之の空間創造へ

この東鳩ヶ谷団地の庭空間には、後に世界的な彫刻家となる流政之氏(当時35歳)のスケッチから生まれた、ティールスツールベンチ水飲み灯籠などが設置され、団地に自然な存在感を醸成していました。これらの一部を再生するとともに、新たな作品「住塚(SUMIZUKA)」を加えて「アートのあるコンフォール東鳩ヶ谷」として、未来に向けて継承していくことになりました。



保全されたけやきの木



代表作「サキモリ」



庵治町のナガレスタジオ



「住塚 SUMIZUKA」

世界的な彫刻家 流政之

世界的に高く評価されている流政之の創造哲学は、美術館のためだけの彫刻ではなく、広大な空間にあつて人びとに感動と力を与え、まちおこしの起爆剤となる彫刻です。サムライアーティストとしてアメリカを中心に世界的に活躍、タイム誌によって川端康成、三島由紀夫、黒澤明と並んで日本を代表する文化人として紹介されました。日本芸術大賞、吉田五十八賞を受賞、現在も香川県庵治町にスタジオを構え制作活動を続けています。

「住塚(SUMIZUKA)」とは

この地に暮らし続けた人々の記憶と歴史を凝縮し、心のふるさととして流政之自ら製作する石の彫刻とともに永遠に残していこうというものです。

「住塚(SUMIZUKA)」には住民の思いの品、心をこめた文章、時代を示す生活用品・住宅建具などがおさめられ、半世紀に及ぶ生活史が未来へ伝承されていくことでしょう。